

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：ランゲージ・ハウスFujisaki保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：松本 紗枝	定員（利用人数）： 30名（29名）
所在地：〒210-0804 川崎市川崎区藤崎1-23-6	
TEL：044-589-8637	ホームページ： https://ilh-fujisaki.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：令和3年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社クロベコーポレーション	
職員数	常勤職員：9名 非常勤職員：3名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長：1名 英語講師：1名
	看護師：1名 栄養士：1名
	保育士：8名 その他：2名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	保育室：2室 トイレ：4か所
	事務室：1室 調理室：1室
	園庭：無

③ 理念・基本方針

【保育理念】

バイリンガル教育を基本とし、これからのグローバル社会にたくましく生きる「自分力」（自主性を重んじ与えるより考えることを大切にす力）、「語学力」（グローバル社会の共通語である英語の教育と日本の文化を教え、礼節ある行動力を大切にす力）を鍛え、誇りある自信に満ちた人格を形成することを目指します

【教育・保育方針】

- ・子どもが安心できる保育・基本的な生活習慣を身につける
- ・多様性の中での、人と人との関わりを大切にする

【園の教育・保育目標】

- ・主体的に自分を表現していく・異文化を理解しコミュニケーション力を高める
- ・思いやりを持って人に接することができるようになる

④ 施設・事業所の特徴的な取組

川崎駅からバスで10分ほどにある閑静な住宅街にあります。
住宅の中にある定員30名の小規模園となり、園庭はないが送迎用の駐輪スペースや近隣にたくさんの公園や川崎大師が散歩コースとなり日々の戸外活動も充実しています。
開設から3年目の新規園ではあるが、近くの保育園や教育機関、近隣の方との交流を大切にしながら地域を大切にしたい保育園を目指しています。

<ul style="list-style-type: none"> ・バイリンガル保育 ・多種多様の保育カリキュラムやイベント ・食育活動

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年4月10日（契約日） ～ 令和5年10月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

⑥総評

<p>◇特長や今後期待される点</p> <p>1)地域での様々な環境を生かした保育の実践 園周辺は公園も多く、公園での自然から感じ取れる事象、自然物の匂いや音などを通して子どもの五感の育みを大切に、散歩などの戸外活動を積極的に行っています。散歩中は、地域の方々と挨拶を交わし、交流を深めています。園から流れるピアノの音や子どもの歌声から「上手くなったね」と言葉をかけてもらうなど、近隣からの見守りが健やかな子どもの成長につながっています。公園内の草花や虫を観察するなど、季節の移り変わりを楽しみながら自然に触れ、心身ともに健康的に過ごせるようにしています。</p> <p>2)チームワークの良さで園運営 職員同士、違いを認め合い、尊重し合うことで互いを認め合う信頼関係が構築されています。全体の会議以外でもチームワーク良く、適宜ショートミーティングや意見交換をしています。園長をはじめ法人代表、マネジャーは働きやすい職場づくりを目指してコミュニケーションを図り、職員の自己実現や表現の肯定から保育の質の向上へつなげています。保護者からのアンケートでも満足度の高い結果となっています。</p> <p>3)総合的な人事管理システムの構築 園としての「期待する職員像」については、園長より口頭で職員に周知しており、人事評価は園長との面談時に保育の振り返りと来年度の意向確認を実施しています。職員一人ひとりの経験年数や業務に合った教育・研修を実施するなど人材育成に取り組んでいます。今後は必要とされる専門技術や専門資格を明示し、階層別の人材育成計画を作成するなど、それぞれの職員が理解し、自ら将来の姿を描くことができる総合的なしくみが期待されます。</p> <p>4)中・長期計画の周知徹底 法人としての中長期の計画を策定しています。中長期計画を基に、単年度の事業計画も法人がまとめています。中長期の目指す方向性を示していますが、中長期計画書として明示して関係者への周知が求められます。中長期計画を基にした単年度計画においても、職員が参加する事業計画策定の仕組みを作り、保育面、人材面、運営面、財務面などの目標を設定した具体的な計画により、関係者への周知と協働が期待されます。</p> <p>5)各種マニュアルの再整備 保育の実施に関わる各種マニュアルを作成しています。保育実践の標準化を図りながら、保育を行うことを共通認識として保育実践につなげています。日々の保育の中での職員による気づきにより、各マニュアルへ同じような手順が網羅されている部分が多いこともあり、見直しを適宜行い各マニュアルの再確認を行っています。園では、</p>
--

マニュアルに記載すべき事項を精査して再整備を進めており、今後のさらなる取組が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園3年目で初めての受審となりました。アンケートで振り返りの機会が持てたことに加え、訪問調査では自園の取り組みに対し新たな気づきや、より良くなるポイントについてご教授頂きとても学び深いものとなりました。保育園の運営にあたって現状維持または満足はないと考えます。向上心を持ち今後も職員一同、より良い園作りに励みたいと思います。
今回の調査にあたりご協力を頂きました皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり